

2026年度事業計画

施設名 児童養護施設 ガーデンロイ

施設長名 松居 太開

1. 運営目標

- ・ガーデンロイの理念、基本方針、スローガン、実践を大切にします。
- ・新しい社会的養育ビジョンで求められる10年計画をガーデンエルと連携して準備します。
- ・はぐくみホームの利用を含め、個々に焦点を当てた家庭復帰を目指します。
- ・「地域で子育てを行う」を合言葉に地域とのつながりをさらに強固なものとしします。
- ・養育を感情労働と位置づけ職員のメンタル面のサポートを継続して行います。

2. 中期計画分析と2026年度計画

I. 地域の現状と課題の把握

【中期計画分析】

- ・全国的に要保護児童の数は増加傾向にあり、虐待や育児放棄、保護者の病気など、家庭で養育できない子どもたちが多く、大阪府でも、虐待を受けている子どもたちの割合が全国平均よりも高い状況ですが、国全体で、社会的養護が必要な子どもたちに対し、安定した家庭環境を保障することを目指し、「家庭的養護」を推進しています。そのため、児童養護施設においても、大規模施設から地域小規模児童養護施設や小規模グループケアといった、より家庭に近い小規模な形態への移行が進められているため、定員数は2024年度1,346人と予測通りに減少傾向となっています。
- ・18歳未満の大阪府（大阪市・堺市・豊中市は除く）人口は2025年度681,808名と計画よりも減少傾向となっています。
- ・里親委託率に関しても、2023年度は全国平均25.1%に対し、大阪府は13.7%と伸び悩んでいます。
- ・東大阪市国土強靱化地域計画に示された大規模自然災害で想定される被害予想に対しての備えに関して施設長・事務長会議や危機管理委員会を中心に取り組んでいますが、施設が致命的な損傷を受けた際の避難場所の確保、各機関との連絡手段だけでなく、リスクシナリオを回避するための事前防災・減災対策は未だ課題があります。
- ・法人内で事業別部会が発足され、エルと共に神愛館（乳児院）へ行き現状を含めた情報共有を行いました。

【2026年度計画】

- ・“第三次大阪府社会的養育体制整備計画”、“令和7年版（令和6年度業務実績）大阪子ども家庭白書”にある対象児童の動向を把握し施設運営を行います。
- ・引き続き、東大阪市国土強靱化地域計画に盛り込まれている大規模自然災害に対する備えを行います。
- ・東大阪市第7期地域福祉計画を基に社会福祉事業者の役割として「だれもが安心して自分らしく活躍できる地域を目指して」を目標に可能な限り支援を行います。
- ・引き続き、神愛館（乳児院）との交流を含めた情報交換を行います。

II. 施設内を意識した運営

【中期計画分析】

- ・開設当初より、ロイのスローガンを大切に児童へ支援してきましたが、2023年度に児童自ら触法行為を行ったことで、措置変更となったケースや、不登校から非行傾向となり、ODへと繋がった児童がおり、思春期対応への課題があります。
- ・入所児童に関して、児童精神科に掛かる児童や療育手帳を所持する児童の割合が増え、より専門的な関りが必要となっています。
- ・職員体制の確保ができず、2024年4月以降つくしホームを閉鎖し、本体は3ホームでの運営となりました。
- ・2024年度から上内鏡子牧師をお招きし“イエス団とクリスマス”について話を聞く機会を設け賀川豊彦の歩み、キリスト教への理解を深めました。
- ・大阪オンヌリキリスト教会のボランティアを通じて子ども達がキリスト教に触れました。また、4月の新任オリエンテーション時には都来チャーチの山下翼牧師をお迎えし、話を聞く機会を設けることができました。
- ・MS2009を知る機会として、子ども会議にて各ホームの事業計画に基づき「つながる」「よりどころ」「わたしを大切に」「子どもの最善の利益を守る」を子ども達に説明しました。
- ・より良い養育、年齢発達に応じた課題の改善に関して、日々の申し送り、ケース会議、関係機関とのカンファレンス等で話し合い、チームでアプローチする経験を積むことができました。また、子どもからの意見、要望に対応するために、子ども会議、子ども自治会を実施し、子どもの意見表明、参加の機会を保障することで、民主的な話し

合いの基、建設的な考えが持てるように支援しました。ケアリーバー（施設を退所した子ども）当事者や、その支援者の話を聞くことでアフターケア、リービングケアに繋げていきます。

- ・助産師による性教育の話を児童が聞くことで予期せぬ妊娠、預けられたことが悪いわけではないこと、性同意と責任について学ぶことができました。
- ・看護師が中心となり、職員会議にて感染症対策を伝えたり、服薬手順を整備したりしましたが、医療面での意識改革に課題が残っています。
- ・児童の自尊感情を生み出し育てるために、ライフストーリーワークを必要に応じ実施し今までの生い立ちを肯定的に振り返ることを通じて、いかに多くのよい大人に見守られてきたのかを確認しました。また、エルへ訪問することで、①自身がどの様に大切に育てられてきたのか②乳児を育てることの大変さを知ることができました。
- ・京都文教大学 川畑教授による事例検討会、福山市立大学 野口教授による研修「ペアレントトレーニング」、大阪公立大学 伊藤教授による人権研修、生駒学園・高鷲学園とのアウトリーチ型研修、東大阪子ども家庭センターと協力し児童精神科医を招いての処遇困難事例検討会を実施しました。
- ・施設内にて階層別研修を実施し、人財育成を行いました。

【2026年度計画】

- ・2026年9月以降を目標に現在閉鎖している“つくしホーム”を幼児ホームとして開設し、エルからの入所受け入れの枠を確保することで養育の連続性を大切にします。開設に向け、未就園児の対応も行えるようにエルと協力します。
- ・神戸高齢者総合ケアセンター真愛との給付支援金制度を活用し、施設退所後の支援を行います。また、神戸高齢者総合ケアセンター真愛へ児童が職業体験を行うことで、職業選択の幅を広げると共に法人内交流を行います。
- ・地域小規模児童養護施設マリアの移転を計画的に行うことで、児童の生活の安定を図ります。
- ・引き続き、児童の安定した生活を守るためホーム体制を柔軟に考え対応します。
- ・引き続き、アドボカシー機能として Happy タイムを隔月開催し、児童の意見表明の場を確保し、子どもの権利擁護を進めます。
- ・引き続き、施設内にて階層別研修を実施します。

Ⅲ. 地域を意識した運営

【中期計画分析】

- ・①地域（子ども会、棚林小太鼓保存会、PTA、愛ガード推進委員会）②ボランティア（東大阪大東暁ライオンズクラブ様、大阪オンヌリキリスト教会様、韓国キリスト青年会様）、③関係機関（子ども家庭センター、幼稚園、小学校、中学校、高校、医療機関、里親会、養育里親、実習校、CAPプロジェクトやお、NPO法人 KARALIN、Children`sViews &Voice 社会的養護の当事者エンパワメントチーム）との関係を維持することができました。
- ・定期的に、エルロイ里親相談会を地域の商店街、東大阪市役所、布施駅前市民プラザ多目的ホール、八尾の商業施設にて実施しました。これまでの広報活動が功を奏し、新規 My 里親 1 件へと繋げることが出来ました。
- ・施設種別を超えた東大阪市東地区地域福祉ネットワーク推進会議に参加しています。

【2026年度計画】

- ・地域で子ども達を育てるという観点からこれまでの関係を大切にします。
- ・引き続き、エルロイ協力し、地域での里親相談会を実施します。
- ・引き続き、東大阪市東地区地域福祉ネットワーク推進会議に積極的に参加します。
- ・災害時、福祉避難所としての機能を研究します。

Ⅳ. ミッションステートメント 2009 (MS2009)

【中期計画分析】

- ・MS2009 を生活単位まで浸透させるために「つながる」「よりどころ」「わたしを大切にする」「子どもの最善の利益を守る」という言葉に置き換え、各ホームが生活の中に落とし込み実践しました。
- ・職員によるクリスマス献金を行い、少額ではありますが、必要なところへ金銭的な支援を行いましたが、職員体制の確保が難しく、人的支援には課題があります。

【2026年度計画】

- ・引き続き MS2009 を生活単位まで浸透させるために「つながる」「よりどころ」「わたしを大切にする」「子どもの最善の利益を守る」という言葉に置き換え実践します。

- ・引き続きSDGs『①貧困をなくそう』『④質の高い教育をみんなに』『⑤ジェンダー平等を実現しよう』『⑧働きがいも経済成長も』『⑩人や国の不平等をなくそう』を目標に、ロイの子ども達が自らの可能性を信じ、社会的自立、職業的自立に向けて日常の生活の中で身に付くように支援し、社会に出る準備を行います。

V. その他

【中期計画分析】

- ・全国児童養護施設協議会の自己評価、全国社会福祉協議会の人権擁護と人権侵害の禁止・防止・対応のための要項およびチェックリスト、人権擁護・人権侵害の防止のための点検事項を全職員対象に実施、確認しました。

【2026年度計画】

- ・必要に応じて小規模な修繕を行います。

3. 中期計画で達成された目標と次期中期計画に盛り込みたい目標

【中期計画で達成された目標】

- ・2024年度には①エルと協力し大規模修繕を実施しました。②ロイ開設以降初めての卒園児童を社会に送り出すことができました。③WAM（独立行政法人 福祉医療機構）への返済が終了しました。
- ・2025年度には第三者評価を受審し、施設の使命・養育支援・施設運営等の確認と点検を実施しました。受審していない年度については自己評価を実施しました。

【次期中期計画に盛り込みたい目標】

- ・2029年を目標に地域小規模児童養護施設（1施設×6名、2施設×4名）本体施設（4ホーム×4名）となる様に運営形態を変更していきます。

4. 利用者人数計画

ホーム名	つくし	めだか	ひばり	すみれ	マリア	合計
定員	6	6	6	6	6	30
在籍児童予定数	4	6	6	6	6	28
中高生	0	0	6	2	5	13
学童	0	6	0	2	1	9
幼児	4	0	0	0	0	4
未就園児	0	0	0	1	0	1

- ・職員体制：施設長1、事務1、家庭支援専門相談員2、里親支援専門相談員1、心理職1、個別対応1、ケアワーカー 常勤23、非常勤10、嘱託医1 合計41名

5. 利用者サービスの計画（健康・栄養・衛生・安全管理等）

ア) 健康管理

- ①計画的な予防接種の実施
- ②年間2回の健康診断を実施
- ③エルロイ看護師と協力し、児童の健康管理を行います。

イ) 栄養管理

- ①自分たちの食事になるよう児童のリクエストメニューを献立に取り入れます。週2回（日曜日、月曜日）の朝食は各児童が食べたいものを決めていきます。また、各ホームが朝食の献立を決め、購入も行う週を設けます。
- ②鍋など季節感を料理に取り入れます。
- ③ロング・ローテーションで7日間分の備蓄食を食事に取り入れます。
- ④男児ホーム「めだか」は自立に向け、買い出しを含めた調理を行いました。その結果、以前までは「これ嫌い」と言っていただけであった言葉が、「これ苦手やねん」と言い直すなど、他者視点の獲得や、「もったいない」という意識の芽生え、物の価値や手間を学ぶ機会となっています。
- ⑤女子ホーム「すみれ」は引き続き夕食の汁物調理と毎月ホーム調理を行います。
- ⑥地域小規模児童養護施設「マリア」は引き続き買い出し、調理を行います。また、月1回第4日曜日の夕食献立を児童と決めるようにします。週に1回の手作りおやつも実施します。また、栄養士と相談し、お刺身などの生ものが提供できるようにしました。

ウ) 衛生管理

- ①感染症の予防、感染拡大防止に努めます。

- ②エルロイ看護師と協力し、衛生管理を行います。
- ③保健衛生委員会を中心に感染症対策のBCPを作成します。
- ④2026年度以降の嘱託医を速やかに探し、児童の健康面での安定を図ります。

エ) 安全管理

- ①ヒヤリハット・事故報告・苦情報告・始末書内容を、苦情解決第三者委員会で共有し、今後の対策に努めます。
- ②危機管理委員会及び避難訓練を毎月実施します。
- ③警察、消防と連携し不審者訓練、防災訓練に取り組みます。
- ④安全計画・BCPに関して見直しを行い、必要に応じて更新を行います。
- ⑤看護師を中心に各職員へ普通救命講習を実施し、心肺蘇生法やAEDの使用方法を学びます。

6. 職員処遇の計画（昇給、採用退職、福利厚生、研修等）

ア) 昇給

- ・定期昇給に加え、令和8年1月15日発出の子ども家庭庁事務連絡「令和7年度補正予算における児童入所施設措置費の対応について」に基づき、給与表の改定を行い全職員給与のベースアップと役職者や専門職給与の見直しを行います。

イ) 採用退職

- ・エルロイで協力し年度初めの4月から説明会や採用試験を行います。また、社会福祉士の実習受け入れの準備を行い、就職へと繋がられるようにします。
- ・6月に次年度の意向調査を実施し、採用人数を決定します。
- ・ホームページの更新、SNSの利用を行い、就職希望者に最新の情報を提供します。
- ・採用 常勤職員1名、非常勤4名 退職 常勤職員2名(R7実績)

ウ) 福利厚生

- ・職員のインフルエンザ予防接種に関し、施設負担にて実施を行います。
- ・職員健康診断を年1回（直接処遇職員は2回）実施します。
- ・感性症の状況を見て可能な行事を検討します。
- ・エルロイの職員交流を深めると共に、働く意欲を高めるため、親睦会委員を中心に懇親会や昼食交流会を実施します。

エ) 研修

- ・リモートを含め可能な限りの研修受講を予定します。
- ・イエス団、厚生労働省、全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、子ども虹情報研修センター、日本こども養育研究会、日本こどものための委員会、小舎制養育研究会、近畿児童養護施設協議会、SBI子ども希望財団、大阪府、大阪府社会福祉協議会、大阪児童福祉事業協会等の研修に職員を計画的に派遣します。
- ・ガーデンエルとの合同研修や内部研修、生駒学園、高鷲学園とのアウトリーチ型研修、東大阪子ども家庭センターとの処遇困難事例検討会を積極的に開催します。

オ) その他

- ・行政指導監査にて、宿直の回数について文書指摘がありました。指導監査改善報告書の内容を遵守します。

7. 施設・設備の整備計画（税抜100万円以上記載）

整備の名称	金額	財源（補助金等の金額）
マリア 拠点引越しに伴う改修工事	18,000,000円	大阪府児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業費補助金 その他の特定積立金取崩

8. 借入金償還予定（単位・円）

No	借入先	契約年月日	当初借入金額	利率(%)	期間(年)	最終年度	前年度3月末残	支払月
1	なし							

9. 会計予算の状況

- ・本体認可定員24名から暫定定員22名になる見込みのため、事務費収入が減少する見込みです。

- ・マリアの拠点の賃貸借契約が向こう5年以内で終了するため、引っ越しを計画しており1,800万円の支出を見込んでいます。改修に際しては、大阪府へ大阪府児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業費補助金を申請予定です(最大800万円)。残り1,000万円については、その他の特定積立金を取り崩します。

10. その他特記事項

- ・施設長、事務長会議にて月次試算表を基に運営状況を月に1回分析します。
- ・SV、何でも相談の利用等を行い、職員の心身の安定を支援します。

11. 今年度行事等計画書 (施設名 ガーデンロイ) ※中学校・小学校区の行事のみ記載

月	利用者の行事 (ホーム単位で実施)	職員・保護者会の行事	子育て支援・地域交流・その他
4月	誕生日会	職員) 歓迎会	教会) レクリエーション 地域、子ども会) 古紙回収
5月	誕生日会	職員) 懇親会	教会) レクリエーション 地域、子ども会) 枚岡神社小太鼓祭り、古紙回収
6月	誕生日会	職員) 昼食交流会	教会) レクリエーション 地域、子ども会) 四條の風フェスタ、古紙回収教会
7月	誕生日会		教会) レクリエーション 地域、子ども会) 上六万寺納涼祭、古紙回収
8月	夏休み外出 誕生日会		教会) レクリエーション 地域、子ども会) なるかわ苑納涼祭招待、大池公園盆踊り大会 プール開放、花火大会、ラジオ体操、デイキャンプ ライオンズ) 花火大会
9月	誕生日会		教会) レクリエーション 地域、子ども会) 古紙回収
10月	誕生日会		教会) レクリエーション 地域、子ども会) 枚岡祭礼・四條榎林小太鼓、秋の運動会、古紙回収
11月	誕生日会	職員) 昼食交流会	教会) レクリエーション 地域、子ども会) 映画観賞会、古紙回収
12月	誕生日会 クリスマス会	職員) 懇親会・昼食交流会	教会) レクリエーション 地域、子ども会) クリーンキャンペーン、愛ガード運動推進委員会、 クリスマス会、夜回り、古紙回収 ライオンズ) 餅つき
1月	誕生日会 正月外出		教会) レクリエーション
2月	誕生日会	職員) 昼食交流会	教会) レクリエーション 地域、子ども会) ビーチボールバレー大会、古紙回収
3月	誕生日会 卒園セレモニー 年度末外出	職員) 送別会	教会) レクリエーション3 地域、子ども会) お別れ遠足、古紙回収

※その他) 今年度行事等計画書の補足

教会: 大阪オンスリキリスト教会・地域、子ども会: 上四条小学校区PTA、自治会等・ライオンズ: 東大阪大東暁ライオンズクラブの行事

* 定例行事 (職員会議、月例保護者会等)

- ・子ども会議、職員会議、運営会議、リーダー会議、ホーム会議、危機管理委員会、保健衛生会議、ごちそう会議、人権・性教育委員会、子ども自治会、ケース会議、施設長・事務長会議、嘱託医連絡会、エルロイ里親支援会議、心理士会、親睦委員会